

## 国際交流センターからの案内（概要） 新入生オリエンテーション

場所：共通棟 A棟の1階 事務所（国際交流課）と 教員の研究室  
「語学シャワー室」留学関係の資料があります。

海外留学や外国語学習、留学生との交流に関する情報提供、相談対応  
\*大学HP「国際交流センター」があります。

1. チラシ「TOUGH（タフ）プログラム2020年度 前期新規登録」
2. パンフレット「TOUGH（タフ）プログラム」
  - ・TOUGH（タフ）プログラムを登録しておく、鳥取大学のグローバル人材教育を受けたという大学からの修了証がもらえます。これは就職の際にも役立つ証明となります。
  - 修了対象：「学部科目（対象科目）」＋「海外研修プログラム参加」  
＋「\*学内国際交流活動」＋「長期交換留学」 など
  - ・4月23日「タフプログラム説明会」ネット配信します。ネット配信は国際交流センターHPにURLで案内します。 登録は5月10日締め切りです。
  - ★学期途中の登録ができません。
  - \*詳しくは説明会で。
3. チラシ「語学強化コース」：昼休みなどに語学の勉強が無料で受けられます。  
★まだ開始できません。開始が決まったら国際交流センターのHPにお知らせします。QRコード又はホームページから入ってください。
4. パンフ「GGPプログラム（短期海外研修）」夏・春休み海外研修プログラム
  - ・本年度は夏プログラムを中止しますが、海外オンライン研修を予定しています。
  - 詳しい内容が決まり次第、国際交流センターのHPにお知らせを出します。  
(メキシコ、ウガンダ、アメリカ、カナダ、オーストラリア、マレーシア、台湾)
5. チラシ「日本語パートナー募集」 留学生の日本語授業ボランティア
  - ・自分の授業がない時間に、留学生日本語教室でサポートをしてください。
  - ・留学生と1対1の交流ができます。
  - ★6月24日まで（第1クウォーター）は活動ができませんが、登録は今からできます、チラシのQRコードから申し込んでください。
6. パンフ「鳥取大学グローバルキャンパスライフ」：学生の国際交流活動

2020年度前期 新規登録

**T**ottori  
**U**niversity  
**G**lobal  
鳥取大学  
グローバル人材  
育成教育 (TOUGH)  
プログラム  
**基礎力養成コース**

**H**uman resource program

基礎力養成コース登録希望者

**TOUGHプログラム  
登録説明会**

4月23日(木)12:10-12:50

会場: 共通教育棟C棟2階  
C21

登録を希望する方は、必ず登録説明会に出席し、プログラムの内容や登録をする上での留意点について説明を受けてください。



※登録を希望する方で、やむを得ず説明会に出席できない場合は、下の担当教員までご連絡ください。

担当教員: 国際交流センター 御館 久里恵 准教授  
otachik@tottori-u.ac.jp



このパンフレットがある人は  
持参してください!

# Tottori University Global Human resource program



## 鳥取大学 グローバル人材 育成教育プログラム

**Q.** TOUGHについてもっと知りたい・登録について相談したい。

**A.** プログラム担当教員に相談。  
教育センター／和田 綾子 教授  
✉ awada@tottori-u.ac.jp  
教育センター／井上 順子 准教授  
✉ inoue@tottori-u.ac.jp  
国際交流センター／御館 久里恵 准教授  
✉ otachik@tottori-u.ac.jp

**Q.** グローバル強化コースについて相談したい。

**A.** 各学部担当教員に相談。  
地域学部／岸本 覚 教授  
✉ kishimoto@tottori-u.ac.jp  
工学部／岩井 儀雄 教授  
✉ iwai@tottori-u.ac.jp  
農学部／猪迫 耕二 教授  
✉ inosako@tottori-u.ac.jp

**Q.** 留学について相談したい。

**A.** 国際交流センター教員に相談。  
✉ all@ciatu.tottori-u.ac.jp

**Q.** 鳥取大学のグローバルな取り組みが知りたい。

**A.** Facebook「鳥取大学グローバル・国際交流情報」にて  
最新情報を随時更新中。  
<http://facebook.com/tottoriglobal>

鳥取大学 国際交流

検索

鳥取大学国際交流・留学情報ホームページ  
<https://ciatu.tottori-u.ac.jp/ja>



鳥取大学  
Tottori University

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101

グローバル人材育成推進室  
TEL.0857-31-5052

✉ kokuko-renkei@ml.adm.tottori-u.ac.jp

学生部教育支援課

TEL.0857-31-5054

✉ st-kyokikaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

<https://ciatu.tottori-u.ac.jp/ja>



# TOUGH program Towards the Globalized World

TOUGHは一定の基準を満たした学生を「タフで実践力のあるグローバル人材」と認め、大学から認定証を授与するものです。グローバル人材としての基礎力を養うことを目的とした「グローバル基礎力養成コース」では、大学生活を送るうえでの目標設定やグローバル人材として必要な教養の修得、海外での学びをサポートをします。より高いグローバル能力を養うことを目的とした「グローバル強化コース」では、専門知識を英語で学び、海外での実践活動のサポートをします。それぞれのコースを修了して授与される認定証は、就職活動などでグローバル人材として必要な資質を備えていることをアピールするのに役立てることができます。

TOUGHでの学びを通して、「タフで実践力のあるグローバル人材」として、日本や世界といった場所に縛られずあなたの可能性を大きく広げましょう。

※「TOUGH」とは、グローバル人材育成教育プログラム(Tottori University Global Human resource program)の略称です。

## グローバル人材育成教育プログラム(TOUGH)で身につけたい3つの能力

- グローバル人間力**  
自己開発・強化力、自己管理能力、課題発見・解決力
- グローバルリテラシー**  
日本発信力、地球的課題理解力、異文化理解・受容力
- グローバルコミュニケーション力**  
英語通用力、トリリンガル能力、プレゼンテーション能力、ディベート能力、チームワーク力

## 【タフで実践力のあるグローバル人材】

世界情勢、文化、歴史を知り  
自信をもって海外に出かけよう！  
**基礎科目の受講**

活動を振り返り、  
身につけた能力や  
自分の成長を確認しよう！  
**グローバル  
ポートフォリオ**

グローバル  
ポートフォリオ  
新しい目標を設定し、  
行動計画を立てよう！

**2**  
**強化専門  
科目の受講**  
自分の専攻の  
勉強も外国語で  
チャレンジしよう！

様々な活動に参加して  
実践力も強化しよう！  
**グローバル活動**

**4**  
**グローバル  
ポートフォリオ**

**1**

**グローバル  
強化コースに  
登録**

**認定証**

**グローバル  
強化コース  
修了**

海外のみならず、  
日本においても  
グローバルに活躍！



**グローバル  
基礎力養成コースに  
登録**

**2**

**4**

**認定証**

**グローバル  
基礎力養成コース  
修了**



登録はホームページ上の登録フォームに入力するだけ！

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/online-application/tough-kiso>

学期開始時に開催される「登録説明会」に参加してください。その後、ホームページ上の登録フォームに入力し、登録は完了です。  
登録時期は、4月と10月の年2回です。

# TOUGH 2つのコース紹介



グローバル人材として必要な基礎力を養うことを目的とした「グローバル基礎力養成コース」と、国際通用性のある専門知識と、より高いグローバル能力を養う「グローバル強化コース」の各コースの修了には次の要件を満たす必要があります。両コースとも認定は要件を満たした時点で随時行います。

修了要件を満たした方には、「グローバル基礎力養成コース」或いは「グローバル強化コース」の認定証が発行され、進学や就職活動時にグローバル人材として必要な能力を身に付けていることを、アピールすることができます。

## グローバル基礎力養成コース

### 充実した大学生活を!

- 登録要件: なし
- 対象学生: 全学部1年生～(医学部医学科を除く)

### グローバル活動ポイント

留学や海外研修、国内での国際交流など、様々な活動を「グローバル活動」として認め、活動ごとにポイントを付与します。グローバルな実践力を身に付けましょう。

### 【修了要件】

下記の5つの要件を満たした方には、「グローバル基礎力養成コース」を修了したことを証明する認定証を発行し、グローバル人材として必要な基礎力が身についたことを認定します。

- 基礎科目**  
全学共通科目「グローバル教育基礎科目群」(外国語科目を除く)の中から12単位以上修得する。  
\*ただし、以下の科目から1科目2単位以上修得すること。
  - ・「国際理解(グローバルスタディーズ)Ⅰ」
  - ・「国際理解(グローバルスタディーズ)Ⅱ」
  - ・「海外安全マネジメント」
  - ・「グローバルイシュー(地球規模課題)」
  - ・「世界の中の日本:Japanese society and culture」



- グローバル活動ポイント**  
P5に挙げるグローバル活動に参加して報告書を提出し、合計8ポイント以上獲得する。

- 成績**  
要件①「基礎科目」の対象科目のGPAが2.5以上

- 外国語能力**  
以下のいずれかを有する。(当該言語を母語とする場合は対象外)

言語	対象学生	試験名	級/スコア
英語	全学生	TOEIC	600点以上
中国語		中国語検定試験	4級以上
韓国語		ハングル能力検定試験	3級以上
スペイン語		スペイン語技能検定	4級以上
フランス語		実用フランス語技能検定試験	3級以上
ドイツ語	留学生	ドイツ語技能検定試験	3級以上
日本語		日本語能力試験	N2以上

- グローバルポートフォリオ**  
各年度末の定められた期間に「グローバルポートフォリオ」を作成し、提出する。  
特段の理由なく定められた期間に提出できなかった場合、次年度以降継続しないものとみなす。

### 基礎科目

全学共通科目履修案内に記載されている「グローバル教育基礎科目群」の中から選びます。海外や日本の歴史、文化、政治・経済、自然・生態などの多彩な知識を学んだり、相互理解を深め、課題解決に受けて協働する力を身に付けます。英語で実施される授業もあります。

### グローバルポートフォリオ

大学生活の目標を設定し、コースや研修で学んだことをまとめて、自分だけのポートフォリオ(自己分析と目標)を作成します。P(Plan)D(Do)C(Check)A(Action)サイクルに従って計画を立て実行し、それに対する振り返りができます。

## グローバル強化コース

### グローバル化する社会で 一歩リード!

- 登録要件: グローバル基礎力養成コース登録者又は修了者かつTOEIC500点以上
- 対象学生: 地域学部、工学部、農学部

### グローバル活動ポイント

グローバル基礎力養成コースに引き続き、参加したグローバル活動にポイントを付与します。よりポイントの高い活動に挑戦しましょう。

### 強化専門科目

各学部の専門教科について外国語で学びます。留学先での授業をスムーズに受けることができるようになります。また、海外での研究発表にも役立ちます。

### グローバルポートフォリオ

基礎コースで学んだことを振り返り、自分の目標をブラッシュアップして、卒業後のキャリアについて明確なイメージを持ち、PDCAサイクルを用いてグローバル人材として必要な能力を向上させる機会とします。  
※PDCAとはPlan-Do-Check-Actionの略称です。

### 【修了要件】

下記の6つの要件を満たした方には、「グローバル強化コース」を修了したことを証明する認定証を発行し、グローバル人材として必要な高い語学力と専門知識を修得したことを認定します。

- 「グローバル基礎力養成コース」修了
- 強化専門科目**  
各学部指定の強化専門科目から計6単位以上修得する。
- グローバル活動ポイント**  
「グローバル基礎力養成コース」の修了要件②に挙げたグローバル活動に参加して報告書を提出し、「グローバル基礎力養成コース」のポイントとして認めたポイントと合計して13ポイント以上獲得する。  
\*持続性社会創生科学研究科に進学した者については、同研究科在学時の活動もポイントとして認め、修了要件を全て満たせば修了証を発行する。  
\*P5に挙げた15の活動に加え、「鳥取大学ITP」修了者には5ポイントを与える。
- 成績**  
判定時または学部卒業時の全履修科目のGPAが2.5以上
- 外国語能力**  
以下のいずれかを有する。



言語	対象学生	試験名	級/スコア
英語	全学生	TOEIC	800点以上
		TOEFL iBT	87点以上
		IELTS	6.5以上
		実用英語技能検定試験	準1級以上
日本語	留学生	日本語能力試験	N1

- \*持続性社会創生科学研究科に進学した者については、同研究科在学時に取得した級やスコアも認め、修了要件を全て満たせば修了証を発行する。

- グローバルポートフォリオ**  
各年度末の定められた期間に「グローバルポートフォリオ」を作成し、提出する。  
特段の理由なく定められた期間に提出できなかった場合、次年度以降継続しないものとみなす。





あなたの不安や疑問をここで解決!



# TOUGH program

## Q&Aコーナー

**Q** 登録に必要な条件はありますか?

**A** 「グローバル基礎力養成コース」には、鳥取大学生であればどなたでも登録できます。(医学部医学科を除く)「グローバル強化コース」の登録には、「グローバル基礎力養成コース」登録者または修了者でTOEIC500点以上のスコアを取得していることが必要です。

**Q** プログラムに登録することにメリットはありますか?

**A** グローバル化する社会を生き抜く基礎力、応用力を身につけることができます。また鳥取大学より「認定証」が授与され社会や企業などに、その能力をアピールできます。

**Q** 将来は海外で働くつもりがないのですが、登録した方が良いですか?

**A** 本プログラムで養われる力は、海外のみならず、グローバルが進む日本社会でも必要となります。また、世界を知ることにもつながります。国内での就職を考えている方の登録もおすすめします。

**Q** コースに登録したいのですが…

**A** コース登録はとても簡単です。登録を希望される学生は学期開始時(4月中旬及び10月中旬※)に開催される登録説明会に参加して、ホームページ上の登録フォームに入力し、登録完了となります。

◎登録期間  
各学期の履修登録期間と同じ  
※登録説明会の開催日は共通教育棟学生掲示板、又は国際交流センター・国際交流課外掲示板をご覧ください。  
<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/online-application/tough-kiso>

**Q** コースに登録するモチベーションが上がらないのですが…

**A** ポートフォリオを作成することで、目標が明確になり、やるべきことが見えてきます。また、海外研修では学部や学年、国境を超えた仲間ができるので、まずは気軽に登録してください。

**Q** 各コースの認定に留学は必須ですか?

**A** グローバル活動ポイントには、国内での活動も含まれているので必須ではありません。しかし、日本で学ぶだけでは得ることのできない、数多くの体験や学びが留学には詰まっていますので、是非検討してみてください。

**Q** 留学にかかる費用が心配です。

**A** 日本学生支援機構(JASSO)や大学独自の奨学金を取得できるコースもあり、留学費用の負担を減らすことができます。また、語学研修や留学に行く国や期間を、自分の経済事情にあわせて選ぶことができます。詳しくは国際交流課へお問合せください。

**Q** 海外での留学生活について何かと不安です…

**A** 海外の文化・宗教・地理などを学べる「国際理解(グローバルスタディーズ)Ⅰ・Ⅱ」や海外での危機管理を学べる「海外安全マネジメント」などの講義を受けてみてください。留学のハードルが下がったり、不安への対策を自分の中に持つことができます。さらに海外教育プログラムは事前研修も充実しています。

**Q** 留学先で授業についていだけの英語力があるか不安です…

**A** 授業以外にも、留学準備にぴったりな国内英語プログラムが用意されており、あなたの英語レベルにあったコースを選ぶことが可能です。留学生の日本滞在支援と異文化体験ができる日本語パートナー制度もあります。これら国内での活動もグローバル活動ポイントに含まれます。

### 【グローバル活動ポイント一覧】

	活動	ポイント数
①	学術交流協定校への1学期以上の交換留学	5
②	「トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム」による留学	5
③	鳥取大学「Global Gateway Program」	3
④	各学部での海外研修プログラム	2~3
⑤	海外学術交流協定校等が主催する研修プログラム	3
⑥	語学強化コース(修了した場合のみ)	3
⑦	国内英語イメージプログラム	2
⑧	G-frenzの活動	1~3
⑨	日本語パートナー(クラスパートナー/パートナーシップ)	1~3
⑩	留学生チューター	2
⑪	新入留学生受け入れサポート	1
⑫	国際交流センターが主催する留学生との交流行事	0.5
⑬	国・地方自治体等が主催する海外派遣事業	2~5
⑭	生協やその他民間の団体・学校・企業等が主催する海外プログラム(ボランティア活動・インターンシップ等を含む)	2~5
⑮	その他、グローバル活動として申請したい活動	0.5~5

- 報告書は年2回(各学期末)の定められた期間に提出する。
- ⑬~⑮のうち、大学を通して申し込んでいない場合は参加を証明するものを併せて提出する。
- ⑥、⑧、⑨については1学期あたり、その他については1プログラムまたは1回あたりのポイントとし、同項目複数回の申請を認める。
- ポイント数に幅のある項目については、報告書や参加実態を考慮してプログラム担当教員がポイントを決定する。



# 【参加者募集！】

## 語学強化コース

**目的：** 海外留学、海外派遣プログラムおよび海外実践教育プログラムへの参加のために実践的語学力の向上を図りたい学生、持続的に実践的語学力の強化を図りたい学生を対象に開設します。

**対象：** 実践的語学力の強化を希望する学生（正規生）

**言語：** 英語（初級、中級、上級）及び スペイン語（初級、中級）

**内容：** Speaking を重視し、Reading, Writing, Listening, Presentationの組み合わせによる授業（週2回 計20回）

**時間：** お昼休み(12：10～12：50)または放課後(16：30～18：00)

**場所：** 共通教育棟講義室（詳細が決定次第、連絡予定）

※英語のクラス分け

初級：TOEIC430点以下

中級：TOEIC431点～ TOEIC585点

上級：TOEIC586点以上

HP：<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/study-abroad-strength>

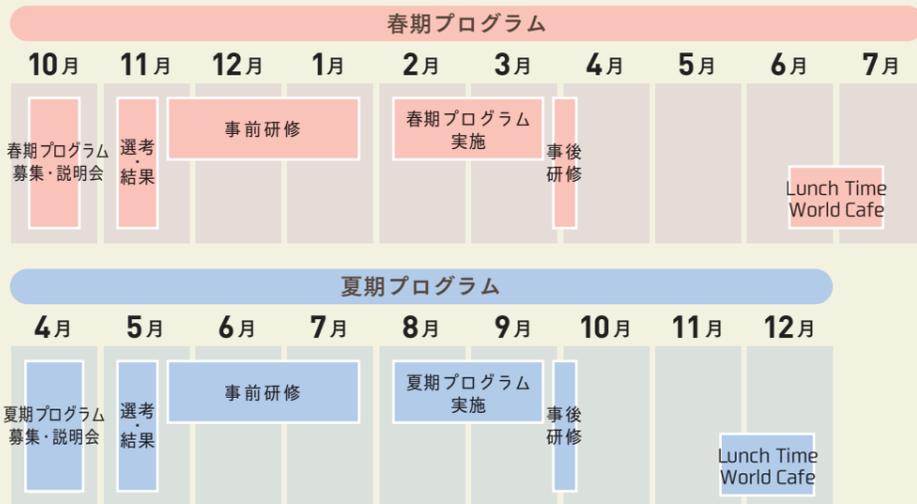


問い合わせ先：国際交流課国際戦略推進室

Email：[kokuko-renkei@ml.adm.tottori-u.ac.jp](mailto:kokuko-renkei@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

## 年間スケジュール

夏期・春期プログラムに合わせて、年2回（4月、10月）募集します。



### LUNCH TIME WORLD CAFE

Global Gateway Programに参加した学生が帰国後、自分たちの活動を振り返り、それぞれの経験を共有する場です。プログラムを通して学んだこと、感じたことなどを発表しています。プログラムでどんな体験ができるのか、実際に参加した学生の生の声が聞ける貴重な機会にもなっています。



大学主催だから初めてでも安心!

### 大学主催のプログラムで安心・安全

徹底した事前・事後研修で留学中の学びを確実なものにし、次なるステップアップを促します。

※全てのプログラムに教職員が同行するわけではありません。

長期留学  
交換留学  
など



まずは初回留学を目指す!

#### 事前研修 → 留学 → 事後研修



- 留学先情報の収集
- 事前学習
- 安全管理の指導



- 現地学生との交流
- 実践能力の習得



- 留学経験の振り返り
- 将来への目標設定

充実した給付型奨学金制度

JASSOや大学、学部から留学のための返済不要の奨学金給付制度

一例) メキシコ12万円 (R元年度実績) 条件を満たせば渡航支援金制度(16万円)の供給も可

## 国際交流や留学に関する情報はこちら

- 鳥取大学国際交流・留学情報ホームページ <https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja>
- 語学シャワー室前や学生会館2階の掲示板 最新情報はポスターでも掲示しています。
- 国際交流センター・国際交流課 (共通教育棟B棟1階) 留学についての相談を随時受付! お気軽にお越しください。
- Facebook 「鳥取大学グローバル・国際交流情報」 <https://www.facebook.com/tottoriglobal/>
- 学生ブランドマネージャー (トビタテ! 留学JAPAN OB) 短期から長期留学まで、学生目線で留学したい学生を応援します。

お気軽にご相談ください



2020年度

# Global Gateway Program

鳥取大学海外留学プログラム



行ってみないと分からない!  
あなたの「新たな一歩」を大学が後押しします!



# 鳥取大学海外実践教育プログラム 海外英語研修の位置づけ

留学に興味はあるけれど、何からはじめればいいのかわからない、  
行きたいプログラムがなかなか決まらない etc...  
レベルや目的で、自分に合ったプログラムを見つけよう!

英語のレベル(目安)

	TOEIC	400点	600点	
実践教育	プログラムの種類	初級	中級	上級
	<b>専門プログラム</b> ●高い専門性+国際通用性の高レベルの人材育成 ●現地の大学生として学ぶ ●各学部が企画する専門性を高めるためのプログラム	各学部の専門教育で実施する海外プログラム		鳥取大学 ITP 交換留学
	<b>海外実践プログラム</b> ●海外のフィールドでの実践教育 ●語学をツールとして、グローバル能力(グローバルマネージメント能力)の向上をめざす ●鳥取大学オリジナルプログラム	メキシコ海外実践教育プログラム ウガンダ海外実践教育プログラム		
語学・異文化教育	<b>多文化協働プログラム</b> ●多文化協働力の育成 ●鳥取大学・マラヤ大学との共修授業	夏期マレーシア多文化協働実践プログラム		
	<b>語学・異文化理解プログラム</b> ●語学強化+異文化理解	春期台湾英語・異文化研修 春期マレーシアファーストステップ英語・異文化研修		
	<b>語学プログラム</b> ●語学強化 ●海外の大学が提供する語学プログラムに参加	春期オーストラリア英語研修 春期・夏期アメリカ英語研修 夏期カナダ英語研修		
	<b>国内語学プログラム</b> ●国内でネイティブ講師による集中英語プログラム ●プログラム参加の準備や参加後の語学力維持のために	国内英語イマージョンプログラム(初級・中級・上級) 語学強化コース(英語・スペイン語・中国語)		

P6~7

## 海外実践プログラム

- 語学を学ぶのではなく、語学を使って専門的な勉強をしたい
- フィールドに出て実践的に学びたい  他人とは違う体験をしたい

**メキシコ海外実践教育プログラム** 研修先: 南バハカリフォルニア自治大学 / 期間: 8月~9月(約2ヶ月) / 費用: 約30万円 奨学金あり 12万円

- 2か月程度の中期中で海外に滞在してみたい  英語力に加えてスペイン語も伸ばし、異文化理解力を高めたい
- 新興国が抱える課題を様々な角度から学びたい

**ウガンダ海外実践教育プログラム** 研修先: マケレレ大学 / 期間: 2月~3月(約3週間) / 費用: 約35万円 奨学金あり 6万円

- 新興国での経験をとおりてグローバルな感覚を磨きたい  国際協力に興味がある  外国の子どもたちと交流したい

P8

## 多文化協働プログラム

- お互いの伝統文化や日常文化を学び合いたい  現地学生と一しょに英語を学びたい
- 多文化社会の生活を体験してみたい  現地学生と24時間英語で生活してみたい

**夏期マレーシア多文化協働実践プログラム** 研修先: マラヤ大学 / 期間: 8月~9月(約4週間) / 費用: 約28万円 奨学金あり 7万円

P8~9

## 語学・異文化理解プログラム

- 現地学生と交流したい  歴史・文化を満喫したい  初めての海外
- 安い費用で留学したい  海外を知り、日本について伝えたい

**春期台湾英語・異文化研修** 研修先: 銘傳大学桃園キャンパス / 期間: 2月~3月(約3週間) / 費用: 約20万円

**春期マレーシアファーストステップ英語・異文化研修** 研修先: マラヤ大学 / 期間: 2月~3月(約3週間) / 費用: 約26万円

P9~11

## 語学プログラム

- 語学を短期集中で勉強がしたい  鳥大生と一緒にいきたい
- 夏休み・春休みを使って1か月程度渡航したい

**春期オーストラリア英語研修** 研修先: アデレード大学 / 期間: 2月~3月(約4週間) / 費用: 約50万円

**春期アメリカ英語研修** 研修先: アーカンソー大学 / 期間: 2月~3月(約4週間) / 費用: 約55万円

**夏期アメリカ英語研修** 研修先: カリフォルニア大学デービス校 / 期間: 8月~9月(約4週間) / 費用: 約55万円

**夏期カナダ英語研修** 研修先: ウォータールー大学レニソンカレッジ / 期間: 8月~9月(約4週間) / 費用: 約50万円

P12

## 鳥取大学インターナショナル・トレーニング・プログラム(TU-ITP)

修士課程学生対象

- 長期の海外滞在をしたい  多国籍教師陣の英語による研究指導を受けたい
- 研究活動に従事したい  多国籍の学生と一緒に切磋琢磨したい!

研修期間: コースワーク(10月、3週間)  
フィールドリサーチ(5ヶ月~11ヶ月)

派遣先: イタリア地中海農業高等研究センター、パリー地中海農業研究所、  
中国科学院西北生態環境資源研究所、ヨルダン国際乾燥地農業研究センター など

P12~13

## 交換留学

- 外国の大学の現地学生と混ざって自分の専門分野を勉強したい  半年または1年程度の長期留学をしたい
- グループではなく単独で渡航したい  休学せずに留学したい
- 実践力のある語学力を身につけたい

P13

## トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム

- インターンシップ等を含むオリジナルの留学がしたい
- 充実した奨学金支援を受けたい  他大学のトビタテ生とネットワークを作りたい

P14

## 国内語学プログラム

P15

## 学内での国際交流

P16~19

## 学部別プログラム

地域学部



垣屋 知里

地域学部地域文化学科 (2016年度入学)

大学4年間の経験を通して仲良くなった海外の友達は、私の人生の財産です。友達とは、研修やプログラムが終わった今でも交流を続けています。私にとって彼らは、国境・人種・言語を越えたかけがえのない友達です。海外に興味がある方もない方も、海外の学生と交流してみたいはいかがでしょうか。

K-POPと英語が好きだったため、韓国語研修やマラヤ大学英語研修に参加したり、日本語パートナーになったりして、海外の友達ができました。韓国語や英語でコミュニケーションをとることはとても刺激的で楽しく、もっと外国語が上手になりたいと思うように。

- 語学強化コース (英語中級) に参加
- 韓国語研修に参加
- 日本語パートナーに参加
- マレーシアマラヤ大学英語研修に参加

大学2年

大学1年

台湾地域調査実習や中国プログラムに参加。実際に現地の歴史・文化を自分の目で見たり、感じたりすることができ、勉強になりました。また、中国語の学習も始めました。

- 梨花女子大学プログラムに参加
- 台湾地域調査実習に参加
- 韓国プログラムに参加
- 中国プログラムに参加\*
- 韓国プログラムに参加\*

大学3年

大学4年

TOUGH プログラム 基礎力養成コース修了

研修やプログラムなどを通して、国境を越えて広がっている中華文化に興味を持つようになり、東南アジアの中華文化を英語で学べるマラヤ大学に半年間交換留学。また、現地の中華系学生からは中国語、韓国人留学生からは韓国語も学べました。



- 韓国プログラムに参加
- 東アジアプログラムに参加
- 台湾プログラムに参加

韓国プログラムや台湾プログラム、中国・香港・台湾の学生を地域学部へ迎入れる東アジアプログラムに参加。海外と日本の学生をひとつにまとめることは難しかったですが、価値のある経験となりました。

卒業後は・・・

自分の夢であった航空業界で働く予定です。世界各地からのお客様が利用される空港という場で、大学で培った歴史・文化の知識や外国語を活かしながら仕事をしていきたいです。

工学部



西澤 息吹

工学部化学バイオ系学科 (2016年度入学)

大学生生活を振り返ると、「人生は一度きり!」という言葉にいつも背中を押されてきた活動に参加してきました。一度きりの人生、楽しまなくちゃ損! 一歩進むだけで、次々新しい世界が見えてくるから、何でもチャレンジしてみよう!

ホームステイで海外での暮らしをしてみたいと思い、オーストラリア研修に参加。クラスメートが非常に多国籍で、ノンネイティブでも堂々と英語を話していることに衝撃を受け、「伝える気持ち」が大切だと気づきました。

- オーストラリア英語研修に参加

入学時は全く語学や留学に興味がありませんでしたが、「大学では自分から動かないと始まらない」と教わり、平凡な人生を変えるために生協の英語コミュニケーション講座に参加。

大学1年

大学生協 オーストラリア・シドニー 異文化体験ツアーに参加

世界の大きさと、異文化の魅力を知りました。また、自分の英語力のなさを痛感しました。

大学2年

国内英語イマージョンプログラムに参加

語学強化コースで継続的に英語を学習 ス페인語コースにも挑戦

大学3年

大学4年

G-frenz で活躍

国内でも常に国際交流に触れていたからG-frenzに所属。たくさんの国の友達ができ、違いをたくさん発見し、違いを純粋に楽しむことができました。

現在は・・・

たくさんの経験が自信になったので、自分の好きなことを何でも進んでやっていきたいです。サイエンスコミュニケーションという夢を目標に、専門性を身につけ、視野をさらに広げ、トビタテや青年海外協力隊など、自分の惹かれるものにどんどん挑戦していきたいです。

先輩の留学ロードマップを見てみよう!

鳥取大学でどんな国際経験ができるの? 留学して良かったことは? 行ってみなければ分からない! 実際に留学した先輩を参考に、自分のプランを考えてみよう!

医学部



佐竹 果奈

医学部医学科 (2015年度入学)

大学時代をどのように過ごすかは、個人の自由だと思います。でも、もし興味があるのなら、とりあえず親にお金を借りてでも、行ってみる事です。自分の世界がすごく広がります。辛い経験も意外と乗り越えられます。



将来働き出したら稼げるので、長期休暇をバイトではなく、海外研修参加を決定。特に理由もなく台湾を選択!

台湾銘傳大学 英語研修に参加

大学2年

大学1年



アメリカ研修は語学力的にも精神的にも一番成長できた研修でした。後1年間くらい滞在できたらいいのに・・・と。20歳代が20年間くらい欲しい気分です。

春期アメリカ英語研修に参加

大学3年

夏期マレーシアマラヤ大学英語研修に参加

フィリピンのクリニックで糖尿病の方々と交流しました。これまでに、参加してきた研修でいろいろな国の人と関わる機会が多かったので、その経験が生かされたと思います。

出る杭プロジェクトで フィリピン共和国の糖尿病クリニックを訪問

大学4年

国内英語イマージョンプログラムに参加

研修に参加する事で、海外だけでなく、日本の他大学の友達もたくさん増えました。自分の視野が大きく広がる事に気がつきました。いろいろな人との出会いがすごく刺激的でした。



卒業後は・・・

英語研修は、人とのつながりの大切さや自分から行動を起こすことの大切さを学べました。チャレンジ精神とか、いろんな事を恐れない気持ちが強くなりました。卒業後も、海外や日本全国の友達とは交流を続けていきたいです。自分がこれから医者となる上で、きっといい刺激を与え続けてくれるに違いないと確信しています。

農学部



青木 稜岳

持続性社会創生科学研究科 国際乾燥地科学専攻 (2018年度入学)

自分の好きなこと、やりたいことに本気で取り組んで、中身の濃い大学生活にしてください!

世界の研究者の方々と一緒に参加したコースワークでしたが、自分の力不足を実感。

ずっと目標にしていた留学ですが、期待をはるかに超える世界が広がっていた。

海外実践教育プログラムへ参加 (UABCS, CIBNOR・メキシコ)

大学2年

大学1年

一年間新たな研究にも取り組み、辛い時期もあったが、乗り越えることで視野も広がり大きく成長できた。将来世界で活躍することで、ここで出会った様々な国の友人ともう一度再会したいと思った。

ITPへ参加 (中国科学院西北生态环境资源研究院・中国)

海外実践教育プログラムへ参加 (UABCS, CIBNOR・メキシコ)

国際乾燥地\* 農学演習へ参加 (CIBNOR・メキシコ)

乾燥地農業を現場で学び、海外での研究を具体的に意識しました。

海外実践演習へ参加 (ICARDA・モロッコ)

大学院進学

計3回、修士論文研究調査でモンゴルへ

先生のサポートもあり、学部生から海外での研究が実現。

現在は・・・

論文を書きながら修士卒業後の道を探しているところです。

\* 学部プログラム。詳細はP16~19を参照ください。



## メキシコ海外実践教育プログラム



中～上級

研修内容・特徴

「タフで実践力のあるグローバル人材」の育成を目指した  
実践教育カリキュラム

実践能力

地域学・医学  
工学・農学



専門知識

社会文化・農業自然

トリリンガル能力

英語・スペイン語



主な研修先

南バハカリフォルニア自治大学(UABCS)  
メキシコ北西部生物学研究センター(CIBNOR)等  
(メキシコ合衆国南バハカリフォルニア州ラバス市)

宿泊先

CIBNORの宿舎

研修期間

約2ヶ月間  
(8～9月)

参加費用

約30万円(プログラム実施費用の一部を負担)

募集人数

15名程度

単位認定・・・海外実践教育科目として履修します

奨学金申請可・・・12万円(JASSO)

参加学生コメント

藤田 理瑚

地域学部地域学科(2018年度入学)

メキシコ研修を一言で表すと「人生のターニングポイント」。毎日積み重ねられる新しい経験に動揺と感動の繰り返しでした。鏡を見た時、昨日までの自分とは違う人間が映っています。全力で学習をサポートしてくれるUABCSの学生さんたち、ホストファミリーとの愛溢れる温かな暮らしが私の日常になりました。自分だけがもつ、かけがえのない多くの経験を得ることができたと実感しています。メキシコで出逢えた人々から学んだ熱量が今の私のエネルギー源です。



## ウガンダ海外実践教育プログラム



初～中級

研修内容・特徴

新興国での開発の基礎的知識と経験の習得をとおして  
グローバルな視野を広げる実践教育プログラム

マケレレ大学でウガンダの  
基礎知識を英語で学ぶ

ウガンダの歴史・文化・  
外国政策について英語で学ぶ。  
現地の人と英語でコミュニケーションする。

多彩なフィールド研修

在ウガンダ日本国大使館、  
JICAウガンダ事務所、  
病院等訪問や現地高校生との異文化交流



主な研修先

マケレレ大学等  
(ウガンダ・カンバラ市)

宿泊先

Grand Global Hotel  
(マケレレ大学からバスで5分)

研修期間

約3週間  
(2～3月)

参加費用

約35万円

募集人数

12名程度

単位認定・・・海外実践教育科目として履修します

奨学金申請可・・・6万円(JASSO)

参加学生コメント

皆川 雄哉

農学部生命環境農学科(2018年度入学)

これから大学で受ける講義や研究を有意義なものにしたい。また、将来、飢餓で苦しむ人に役立つ作物の研究・開発をしたいという思いがあった。研究テーマ(どのような作物を作るか)を決める上で、現地の状況を見て課題を発見することが重要であると考え、このプログラムに参加した。JICAで働く人を見ることができ、彼らの活動を学んで行くにつれ、将来自分がやりたい研究のイメージを持つことができた。ウガンダの農業や教育、交通事情について現地の人々の生の声を聞き、直接学べたことは大変貴重な経験で今後の財産になると思う。





### 夏期マレーシア多文化協働実践プログラム

中～上級



研修内容・特徴

マラヤ大学の学生(パディ)と毎日英語で過ごす

全80時間の英語の授業

マラヤ大学の学生がTA(パディ)として授業、生活をサポート

マラヤ大学の学生が参加学生1人につき1人TA(パディ)として参加します。

ココがオススメ!

マレーシアと日本の「言語・文化・社会」を学びます

#### 主な研修先

マラヤ大学(マレーシア・クアラルンプール市)  
在マレーシア日本大使館、JICA 等

#### 宿泊先

マラヤ大学学生寮  
マレーシア人家庭にホームステイもあり

#### 研修期間

約4週間  
(8～9月)

#### 参加費用

約28万円  
(2019年実績)

#### 募集人数

15名

単位認定・・・単位認定申請をすることができます

奨学金申請可・・・7万円(JASSO)

#### 参加学生コメント

##### 橘 輝之

農学部生命環境農学科(2019年度入学)

マレーシアの研修で、たくさんの経験をj得ることが出来ました。海外の人たちと会話するためには、英語が必要で、なかなかうまく話すことが出来ず、日本の文化やアニメなど、たくさんjのことを聞いてくれるけど、答えられないことが情けないなと感じました。日常会話程度の英語を話すのが目標です。また、海外の人たちは、自分の意見をはっきり言いあっているなと、授業中に思いました。自分の意見を持ち、しっかり相手に伝えられるようになりたいと考えています。今回のマレーシアの研修を終えて、自分の課題点を見つけ、新たに目標を立てることが出来ました。



### 春期台湾英語・異文化研修

中～上級



研修内容・特徴

銘傳大学はアジア初のアメリカ中部大学教育の認証を取得

#### 4技能の集中トレーニング



ココがオススメ!

銘傳大学の英語専攻の学生と日本語専攻の学生がTAとしてプログラムに参加し交流ができます。週末はTAと観光スポットを訪問します。

#### 研修先

銘傳大学桃園キャンパス  
(台湾・桃園市)

#### 宿泊先

銘傳大学(桃園キャンパス)ホテル

#### 研修期間

約3週間  
(2～3月)

#### 参加費用

約20万円  
(滞在期間中の生活費は別途学生負担)

#### 募集人数

20名

単位認定・・・海外実践教育科目として履修します

#### 参加学生コメント

##### 黒田 大輝

地域学部地域学科(2017年度入学)

語学研修という名目で台湾銘傳大学に行ったが、英語力だけではなく、コミュニケーション力や多文化共生力などあらゆるものが勉強になった。また、銘傳大学生の行動力や人間力に圧倒されると同時に、将来、日本人として世界を相手に活躍するために、彼らのような優秀な学生を模倣し、追いかけ、追い抜かなければならないと感じた。日常生活では、銘傳大学生との間で絆が生まれ、母語が異なっても共通言語を使って意思疎通できることを実感した。以前よりも海外が近くなったと思うので、次は自分でプランを立て、アポをとり、海外留学に挑戦してみたい。



### 春期マレーシアファーストステップ英語・異文化研修

初～中級



研修内容・特徴

マラヤ大学の学生(パディ)と毎日英語で過ごす

全60時間の英語の授業

レベル別クラス

マラヤ大学の学生がTA(パディ)として授業、生活をサポート

マラヤ大学の学生が参加学生3人につき1人TA(パディ)として参加します。

ココがオススメ!

初級から英語が学べます

#### 主な研修先

マラヤ大学(マレーシア・クアラルンプール市)

#### 宿泊先

マラヤ大学学生寮  
マレーシア人家庭にホームステイもあり

#### 研修期間

約3週間  
(2～3月)

#### 参加費用

約26万円

#### 募集人数

20名

単位認定・・・単位認定申請をすることができます

#### 参加学生コメント

##### 北村 潮音

農学部生命環境農学科(2019年度入学)

初めての留学、海外渡航で、人生で最も濃い時間でした。パディはほとんどイスラム教の方でした。一緒にいることで、慣習や文化の違いを深く知ることが出来ました。1番に残っていることは、世界のどこでも、勉強や人間関係について悩み、言葉が違っても同じ話題で一緒に笑うことが出来ることでした。そんな些細なことが、新鮮で深く心に残りました。英語の授業は、間違えた分だけ力がつくから少しずつ理解していけば良いという安心できる雰囲気、学力も向上したと感じます。本当にこのプログラムに参加してよかったです。



### 春期オーストラリア英語研修

初～上級



研修内容・特徴

レベル別クラスでの英語学習

レベル別5クラス

1日4時間の英語授業

世界各国から参加

ココがオススメ!

これまでに5名のノーベル賞受賞者を輩出する、オーストラリア屈指の教育研究機関です。

#### 研修先

アデレード大学  
(オーストラリア・アデレード市)

#### 宿泊先

ホームステイ

#### 研修期間

約4週間  
(2～3月)

#### 参加費用

約50万円

#### 募集人数

15名

単位認定・・・単位認定申請をすることができます

#### 参加学生コメント

##### 久林 由佳

地域学部地域学科(2018年度入学)

この研修で得たことの1つ目は、「言語を習得することは難しい。普段英語を使っている私たちも間違えることだってあるのだから。」という先生の言葉を聞いて、間違えることを恐れなくなった。2つ目は、様々な文化や人を受け入れる心を持つことだ。私と、日本と違うからといって拒否するのではなく、人として向き合う大切さを知った。3つ目は、自然を大切にしなければならないことだ。オーストラリアでは、夏は水不足で、滝に水がないのを見た。人間の都合だけで生きてはいけなくて強く感じた。





### 春期アメリカ英語研修

初～上級



研修内容・特徴

鳥取大学と島根大学の学生のためのプログラム  
カンパセーションパートナーとの交流

1日3時間の  
英語授業



ホストファミリー  
との暮らし

英会話・コミュニケーション能力の向上を目指します。

ココが  
オススメ!

日本人学生3・4人に1名のアーカンソー大学学生  
がカンパセーションパートナーとして参加します。

主な研修先

アーカンソー大学  
(アメリカ・ファイアットビル市)

宿泊先	研修期間
ホームステイ	約4週間 (2～3月)
参加費用	募集人数
約55万円	5名

単位認定・・・単位認定申請をすることができます

参加学生コメント

#### 河原 亜季

地域学部地域教育学科(2016年度入学)

このプログラムは、ホームステイ  
が魅力のひとつだと思います。  
家にいる間は、英語しか意思疎  
通の手段がなく、誰にも頼ることが出来ません。何とかして  
自分の思っていることを伝えなければという気持ちになりました。  
学校では学べないアメリカの一般家庭の様子や文化的  
習慣を知ることができ、海外から日本を見ることができまし  
た。文化の違いを受け入れる寛容な心が持てるようになり、  
違った文化を知りたいと思うようになりました。



### 夏期アメリカ英語研修

初～上級



研修内容・特徴

UCデービスの学生が  
カンパセーションパートナーとしてサポート

1日4時間の  
英語授業



ホストファミリー  
との暮らし

英語のクラスだけでなく、ホームステイで  
ホストファミリーとの暮らしからも英語を学べます。

ココが  
オススメ!

充実した放課後のアクティビティ  
週末のオプションツアーも充実(ヨセミテ国立公園・ナババ  
レー・サンフランシスコなど)

研修先

カリフォルニア大学デービス校  
(アメリカ・デービス市)

宿泊先	研修期間
ホームステイ	約4週間 (8～9月)
参加費用	募集人数
約55万円	15名

単位認定・・・単位認定申請をすることができます

参加学生コメント

#### 南角 卓弥

工学部機械物理系学科(2017年度入学)

授業や日々の生活で、つたない  
英語ながらも現地の人とコミュニ  
ケーションをとったことで行動を  
起こす度胸が付き、またやりたいことに対して自ら行動を起  
こす必要性を強く感じました。そして、今まで持てなかった英  
語を勉強するモチベーションが沸き上がってきました。はっ  
きりいって英語力はあまり向上した気がしません。しかしこ  
の研修で経験したことは自分の人生に大きな影響を与えて  
くれ、とても有意義な研修になったと思います。今後は鳥取大  
学で受け入れている留学生と交流したりもしてみたいと思  
います。



### 夏期カナダ英語研修

初～上級



研修内容・特徴

5レベルに分かれ、読む・書く・話す・  
聞く・文法・カナダの文化を学ぶ

20時間/週の  
英語授業



ホストファミリー  
との暮らし

様々な国の学生と出会えます

ココが  
オススメ!

放課後や週末の充実したアクティビティ(一部オプション)  
ウォータールー大学の学生との交流も充実

主な研修先

ウォータールー大学レニソンカレッジ  
(カナダ・ウォータールー市)

宿泊先	研修期間
ホームステイ	約4週間 (8～9月)
参加費用	募集人数
約50万円	20名

単位認定・・・単位認定申請をすることができます

参加学生コメント

#### 中津 春

地域学部地域学科(2018年度入学)

英語研修に参加して、自分自身  
大きく変わったと感じている。行  
く前は外交的な性格ではなかつ  
たが、初めて会った人や日本人以外の人と話すことに対して  
苦手意識がなくなった。初めの方は、英語を聞き取り、理解  
することができず不安だった。しかし、一日中英語を聞いて  
いたため、最後の方には日常会話ならおおよそ聞き取るこ  
うができた。カナダで、他文化に触れ、経験することで、より  
海外に興味を湧いた。自文化とは異なる文化を受容し、尊  
重する大切さを身をもって感じる事ができたのは、自分に  
とってすごく大きく、貴重な経験ができた。



# 鳥取大学インターナショナル・トレーニング・プログラム

乾燥地における統合的資源管理のための人材育成

## Tottori University International Training Program TU-ITP

講義、研究指導は全て英語で行われ論文も英語で作成

高い専門性

国際通用性の高いグローバル人材育成

コースワーク (約3週間)

講義受講・研究計画書の修正

フィールドリサーチ (最長11ヶ月間)

野外調査・論文作成

論文審査



乾燥地科学分野の第一線の国際研究機関で勉強・研究する!



イタリア 国際地中海農学研究所



ヨルダン 国際乾燥地農業研究センター



チュニジア 乾燥地域研究所



中国 中国科学院・西北生態環境資源研究院

対象	参加支援	自己負担	募集人数
鳥取大学修士課程の学生	JASSO奨学金:6~8万円/月(派遣先により異なる) 渡航費:大学負担	海外保険、予防接種など	2名程度

### 秋本 弘太

持続性社会創生科学研究科 国際乾燥地科学専攻(2018年度入学)

私はヨルダンのICARDA(国際乾燥地農業研究センター)に留学しています。乾燥地の研究を現地でしたいと思い、このプログラムに参加しました。研究所は素晴らしいばかりで研究に集中できる最高の環境が整っています。毎日が挑戦という感じがすごく楽しいです。信じられない方はぜひどうぞ!

### 青木 稜岳

持続性社会創生科学研究科 国際乾燥地科学専攻(2018年度入学)

ITPへの参加は学部の時からのプランのひとつで、そのために大学院に進学しました。日本ではできない研究ができること、そして常に刺激のある環境で楽しみたいというのが参加の動機です。行動を共にする先輩方から多くのことを吸収して、自分も大きな成果を出せるように頑張っています。

### TU-ITP 修了生の進路

一夢をカタチに!

ITP修了生は高い国際通用性を身につけ、多くは、国内大手の開発コンサル、国際協力機関などに就職し、世界を舞台にグローバルに活躍しています。

- 開発・環境コンサル / 日本工営、建設技研インターナショナル、エイト日本技術開発、国際航業、応用地質等
- 医薬品、飲料メーカー / ネモト・サイエンス、キリン
- 国際協力機構、教員、その他

# トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム

社会で求められる人材・世界で活躍できる人材へ



- 留学プランを自分で設計できる
- 産・官・学協働で日本人学生の海外チャレンジを応援

奨学金返済 不要

12期までに21名の学生が鳥取大学から世界各地へ飛び立ち切磋琢磨しています。

応募希望の学生、留学中、帰国した学生が一体となり、お互いの夢を応援し合っています。

留学は、学びを深めるだけでなく、自身の視野を広げるチャンスです。是非、私たちと一緒に新しい一歩を踏み出しましょう!

地域	国	大学
アジア	マレーシア	● 語学スクール(クアラルンプール)
	インドネシア	● スラバヤ工科大学(スラバヤ) ● ボゴール農科大学(ボゴール) ● 日本語学校でのインターンシップ(バリ)
	オーストラリア	● 語学スクール(シドニー・ニューカッスル) ● 病院実習(メルボルン) ● 農家でのインターンシップ(ハンターバレー)
アフリカ	ウガンダ	● マケレレ大学(カンパラ市) ● NPOでのインターンシップ(カンパラ市)
	ボツワナ	● ボツワナ農業天然資源大学(ハボローネ)
北南米	カナダ	● ウォーターラー大学(ウォーターラー) ● NPOでのインターンシップ(バンクーバー)
	アメリカ	● ライス大学(ヒューストン) ● 農業機関でのインターンシップ
ヨーロッパ	メキシコ	● メキシコ北西部生物学研究センター(ラパス) ● 南バハカリフォルニア自治大学(ラパス) ● インターンシップ(ラパス)
	オランダ	● デルフト工科大学(デルフト)
	イタリア	● バリー地中海農学研究所(バリー) ● ローマ第三大学(ローマ)
	ドイツ	● ドレスデン工科大学(ドレスデン)

留学期間	対象	奨学金	留学準備金	授業料
28日以上1年以内 (3ヶ月以上推奨)	30歳以下の日本国籍もしくは永住権を持つ学部生・大学院生(修士・博士)	月:16万・12万・6万	15万・25万	年間30万円

### 深内 百合子

持続性社会創生科学研究科農学専攻(2018年度入学)

- 留学先: ボツワナ共和国(南部アフリカ)
- 留学期: 修士1年10月から10か月間 交換留学(休学なし)
- 活動: ボツワナ産ササゲにおける遺伝的多様性の解析(研究インターン)

バックグラウンドが全く違う友達がたくさんできます。文化の違いに悩む時もあったけれど、それもまた貴重な経験であり大切な思い出です!

### 只野 翔大

連合農学研究科国際乾燥地科学専攻(2018年度入学)

- 留学先: ドレスデン工科大学(ドイツ)
- 留学期: 博士1年10月から6か月間(休学なし)
- 活動: 研究インターンシップ

留学は大変なこともあるけど、それ以上に、行った人しか得られないものがたくさんあります。

### 迫本 拓也

持続性社会創生科学研究科 工学専攻(2018年度入学)

- 留学先: オランダ・デルフト工科大学
- 留学期: 修士1年9月から6か月間(休学なし)
- 活動: 断続的な水供給システム下での安全な水供給方法の提案

多くの失敗や苦勞、挫折をしますが、「最高の出会い」、「掛け替えのない思い出」を作ることができます!

## 協定校への交換留学について

協定校の現地学生に混ざって自分の専門分野を勉強しよう!

交換留学制度とは、本学と学術交流協定を結んでいる海外の大学(協定校)との間で学生を相互派遣・受入する制度です。

これまで培った語学能力を生かして挑戦、長期留学へステップアップ!

### 奨学金制度

#### 鳥取大学みらい基金

毎年4月に公募し、受給者を選考します。満たない場合は10月に再募集します。

対象	支給額	募集人数
日本人学生	15万円 (3ヶ月以上の派遣で、1回限り支給)	10名程度

給付・返還 不要

### 交換留学先 《交換留学が可能な全大学リストは、ホームページで確認してください。》

鳥取大学の学生は27の国・地域、67大学へ交換留学することができます。(2019年7月1日現在)

#### 過去3年間の交換留学実績のある大学一覧

ウガンダ ●マケレレ大学	ボツワナ ●ボツワナ農業天然資源大学	中国 ●北京林業大学	台湾 ●銘傳大学	韓国 ●釜慶大校	タイ ●コンケン大学 ●ウボンラチャタニ大学
マレーシア ●マラヤ大学	ベトナム ●カンタオ大学 ●交通通信大学	インドネシア ●ボゴール農科大学	カナダ ●ウォーターラー大学 (工学研究科のみ)	メキシコ ●南バハカリフォルニア自治大学 ●メキシコ北西部生物学研究センター	

### 澄川 顕弘

農学部生物資源環境学科(2016年度入学)

- 留学先: 北京林業大学
- 留学期間: 2018年9月~2019年8月

国が違っても同じように悩み、言葉が違っても同じ話題で一緒に笑えることを知った、人生で最も濃い時間でした。英語の授業では、学力の向上を実感できました。

## 語学力向上のための国内プログラム

### 日本で学べるプログラム

「海外に行くのに今の英語力では不安」「語学を勉強したいけど、研修費用が高くて難しい・・・」  
そんな学生のサポートをするために、鳥取大学が国内で実施している語学力向上プログラムを紹介します。  
授業以外での継続した語学学習が英語力を伸ばす第一歩です!

### 国内イマージョンプログラム

初～上級



#### 研修内容・特徴

### 2日間程度の短期集中英語研修

週末、夏・春休みを利用したネイティブスピーカー講師の指導による英語づけ (immersion=没頭・浸すこと) の研修です。研修中は英語のみを使用し、年3回ほど実施されます。本学の留学生がTAとして参加し、会話練習やプレゼンテーション作成のサポートをします。

- 2日と短い期間でも英語力が向上した。
- 英語を話すことを恐れなくなった。
- 英語だけの生活の雰囲気を感じることができた。  
留学のイメージが少し湧いた。
- TAや先生の他、学生とも英語でたくさん話せたので、今後の学習意欲が湧いた。

研修先

鳥取大学鳥取キャンパス等

参加費用

無料～約2万円

募集人数

約20名

### 語学強化コース [英語・中国語・スペイン語]

初～上級



#### 研修内容・特徴

### 週に2回継続して学べる実践的語学力

海外留学、海外派遣プログラムおよび海外実践教育プログラムへの参加のために実践的語学力の向上を図りたい学生、持続的に実践的語学力の強化を図りたい学生を対象に開設するSpeakingを重視したコースです。

#### 学べる言語

前期

- 英語(初級、中級、上級)
- スペイン語(初級、中級)

後期

- 英語(初級、中級、上級)
- 中国語(初級、中級)

研修先

鳥取大学鳥取キャンパス等

参加費用

無料

募集人数

定員なし

研修期間

前期・後期の昼休みまたは放課後

## 鳥取大学グローバルキャンパスライフ

### GLOBAL CAMPUS LIFE IN TOTTORI UNIVERSITY

鳥取大学には年間を通じて約180名の留学生がいます。  
留学生との交流を通して、鳥取にいながらにして  
異文化体験やグローバル感覚を身に付けることが可能です。

### G-frenz

G-frenzは鳥取大学国際交流センターと国際交流課に所属する学生団体で、メンバーは日本人学生と留学生で構成されています。

#### 【活動内容】

- 本学の国際交流活動の企画
- 留学生の学習・生活のサポート
- 海外留学する日本人学生へアドバイス
- 本学と地域の住民との国際交流の促進

また、活動を通して、多様な背景を持つ留学生と日本人学生がお互いの言葉や文化を学び合うことができます。海外留学帰国後にメンバー登録する学生の多くは、海外でお世話になったことへの感謝の気持ちを込めて、また、海外とのつながりをさらに深めるためにG-frenzに参加します。

メンバー  
の声

- G-frenzでの活動は、まさにGlobal人材になるために重要な活動。
- 鳥取でも異文化経験が出来る。
- 宗教・文化・国民性などの違いがあるからこそ、みんなとの触れ合いが楽しい。
- 常に留学生と会話するので、その国に興味を持ち、毎日刺激を受ける。



### 日本語パートナー



「日本語パートナー制度」とは、留学生向けの日本語授業に、日本人等学生が留学生と一緒に授業に参加し、漢字の書き取りや会話の練習などをサポートするものです。また、授業の空き時間や休日にお互いの国の文化や言葉を教えあったり、一緒に遊びに行っています。世界各国からの留学生、研究生と交流することができ、友達になれます。留学生が帰国した後も多くのパートナーがお互いに連絡を取り合い、関係が長く継続しています。

メンバー  
の声

- 日本語パートナーの活動はお金をかけずに海外の方々と関わることができ、とても楽しい。
- 留学生が日本語を懸命に学ぶ様子を見て、自分自身の語学学習の意欲向上につながった。
- 様々な文化に触れることができ、毎回新鮮。

## 地域学部プログラム

## I. 海外フィールド演習

奨学金申請可

アジアや北米をフィールドに地域学の様々な分野について実際の現場で英語での調査を行います。また各地の学生達との交流やワークショップを行い、国際理解力やコミュニケーション力を培います。

## 1 ベトナム・フェプログラム



研修先 **フエ大学**(ベトナム・フエ)  
演習内容 農村コミュニティと地域文化の調査、フエ大学学生との交流を行います。

対象	募集人数	日程	参加費用
地域学部1年生以上 (単位認定ありだが1年生は卒業単位には含まず)	8名程度	3月上旬～中旬 (約10日間)	約12万円

- 思いを言葉と行動で伝え合う。
- ベトナムの学生たちに「日本語を教えてよ」と言われ、英語でお互いの言語を教え合った。

## 2 北米プログラム



研修先 **カリフォルニア大学デービス校**(アメリカ合衆国・カリフォルニア州)他  
演習内容 北アメリカで多文化社会とエスニシティを考察する海外調査を行います。

対象	募集人数	日程	参加費用
地域学部1年生以上 (単位認定ありだが1年生は卒業単位には含まず)	6名程度	2月下旬～3月上旬 (約2週間)	約30万円

- 言葉の壁を超えて、人と人が通じ合う大切さを感じた。
- 現地の大学生と話し合う中で、大学生活や将来についての考え方や取り組み方の違いを感じた。

## 3 インドネシアプログラム



研修先 **ハムカ大学**(インドネシア・ジャカルタ)  
演習内容 インドネシアの多様性調査を通して、ハムカ大学日本語学科の学生と交流を行います。

対象	募集人数	日程	参加費用
地域学部1年生以上 (単位認定ありだが1年生は卒業単位には含まず)	6名程度	2月下旬～3月上旬 (8日間)	約15万円

## II. 東アジアプロジェクト

奨学金申請可

## 1 中国プログラム in 厦門大学



研修先 **厦門大学**(中国・福建省)  
演習内容 レベル別に中国語の初級・中級の2クラスを開講。また授業「中国歴史文化」の開講、フィールドワークを実施します。

対象	募集人数	日程	参加費用
地域学部 1～4年生	10名程度	3月(約10日間)	約10万円

厦門大学の学生と一緒に中国語の復習や会話の練習をしたり、地域調査や食事など常に一緒に行動し、お互いに日本と中国の文化・歴史・言語への関心がさらに深まりました。

## 2 韓国プログラム in 梨花女子大学校



研修先 **梨花女子大学校**(大韓民国・ソウル市)  
演習内容 授業「朝鮮王朝とソウル」などの開講、韓国の歴史文化調査を実施します。

対象	募集人数	日程	参加費用
地域学部 1～4年生	10名程度	8月中旬～下旬 (約1週間)	約10万円

メディアでしか知らなかった韓国を自分の目で見ることができ、たくさんの刺激を受けました。なかでも韓国の人々が植民地時代の日本と韓国との関係をどのように捉えているのかを垣間見ることができ、強い印象が心に残りました。また、現地学生との交流は韓国語の学習を始めるきっかけになりました。

## 医学部プログラム

## I 臨床実習II : フィリピン共和国国立サンラサロ病院



研修先 **国立サンラサロ病院**(フィリピン・マニラ市、医学部との協定締結済)  
演習内容 輸入感染症について、フィリピン共和国の感染症専門病院において患者診察などの現場体験をします。

対象	募集人数	日程	参加費用
医学科6年生 【教育学習プログラム】	3～5名	7月(2週間) (日本国内での準備期間1週間を含む)	約12万円

世界でも最も多くの熱帯感染症症例が入院する病院のひとつであるサンラサロ病院で小児科病棟、成人病棟で研修に参加しました。 Dengue熱やレプトスピラ症、破傷風、百日咳、ジフテリアなど、今まで教科書でしか見たことのない疾患を見ることができ良かったです。また、犬や猫に噛まれた患者さんの外来や問診、結核病棟を見学しました。100床以上あっても足りず廊下まで結核患者さんが溢れており驚きました。限られた医療資源で診療しており、その中で問診・全身検査を行う難しさを感じました。どのように

疑い、診断し治療を行うのかを一つ一つ現地の先生方に教えて頂きました。実際にそれぞれの疾患の患者さんを目にすることができなければ、罹患する大変さ、過酷さを想像することは難しかったと思います。日本ではなかなか見ることのできないような疾患を診ること、また途上国との様々な違い(医療だけではなく、社会・文化の違いなど)を体験することができ大変有意義な実習となりました。

藤井 雄基 医学部医学科(2013年度入学)

## II WHOなど国際保健の現場訪問



研修先 **世界保健機関西太平洋事務局、フィリピン保健省、国際協力機構フィリピン事務所**など(フィリピン・マニラ首都圏)  
演習内容 国際保健・医療を知る機会をもち、それに従事する医師のキャリアパスについて考えます。

対象	募集人数	日程	参加費用
医学科3～5年生 【教育学習プログラム以外】	3～5名	3月(5日間) (2日の移動日含む)	約10万円

このプログラムではWHOやJICAを含めフィリピンの病院やHIVの診療の現場、保健活動等の見学を行いました。様々な国・職種の人が同じ場所で健康について考え、働く場はとても刺激的で、自分の視野を広げ、世界に目を向けることのやりがいと大切さを今一度気付くことができました。英語での

講義や意見交換は圧倒され、3年生での参加で知識も乏しい部分もありもどかしくも、有意義で貴重な体験でした。またいつか成長して訪問できるように頑張りたいです。

田中 日南子 医学部医学科(2015年度入学)

## III 国際保健の現場訪問



研修先 **フィリピン共和国パテロス町サンタアナ保健センター**(糖尿病クリニック)  
研修内容 フィリピン共和国で増加している糖尿病患者の健診事業や保健教育について現場体験をします。

対象	募集人数	日程	参加費用
保健学科1～4年生 【教育学習プログラム以外】	3名	8月(約1週間) (2日の移動日含む)	約12万円 (自己負担分)

急速な経済成長を続ける東南アジア諸国では、感染症の問題とともに、生活習慣病が大きな問題になりつつあります。その代表が糖尿病です。教育環境が十分に整備されていないことが、糖尿病の拡大に拍車をかけています。糖尿病は教育を受けられない低所得者層の問題でもあり、フィリピン首都圏のパテロス町の糖尿病患者さんに対して、運動を取り入れたアクティビティを実施させて頂きました。日本でも実習で健康教室を実施させて頂く機会はありませんでしたが、今回は現地の患者リーダーさんと共に試行錯誤しながらプログラムを作り上げることができたとても貴重な機会でした。

た。また、フィリピン人の国民性が次第にプログラムに反映されていき、患者さんが今後継続していくための大切な要素であることを気づかされました。現地の国民性や風土に合わせたプログラム作りが重要であり、これは患者さんの自主的な参加に繋がることだと思いました。また、その国の文化や言語について理解を深めることは、患者さんの気持ちに寄り添うためにも重要なことだと学びました。

横田 絵梨香 医学部保健学科(2015年度入学)

## IV 英国総合診療研修



研修(実習)先 **英国大学**(昨年度はケンブリッジ大学)、**英国国内の診療所**  
研修内容 英国の医療制度の中で、総合診療医(General Practitioner)の果たす役割を学びます。

対象	募集人数	日程	参加費用
医学科3～6年生(予定)	6名程度	3月(8日間) (移動日含む)	約10万円 (自己負担分)

今回、イギリスのGPがどのようなものか、それが日本の医療に適合できるのかを知りたくて研修に参加しました。日本と決定的に違うと感じたのは、イギリスの方がよりエビデンスに従った医療をしておりシステムティックであることです。日本は疾患を患者個人の問題ととらえるため、可能性が低くても「万が一」のことを考えて様々な検査や治療をする傾向がありますが、イギリスでは国民全体としての費用対効果が重要視されており、エビデンスが低ければ検査治療

がされないこともあり、それを国民も納得しているようでした。GPはこのようなイギリスの医療に対する考え方の上で成り立つ制度のため、日本がそのまま取り入れても日本の医療に合致するわけではないことを、実際に肌で感じる事ができました。GP制度のメリットもデメリットも目にする事ができ、とても有意義な1週間でした。

吉田 つばさ 医学部医学科(2012年度入学)

## 工学部プログラム

### I ライス大学での研究インターンシップ

奨学金申請可



**研修先** ライス大学(アメリカ合衆国・テキサス州ヒューストン市)  
**研修内容** 米国・ライス大学の自然科学系もしくは工学系研究室の一員として、数か月間、研究活動に携わります。関心のある研究分野を選ぶことができ、知識や経験の幅を広げられます。米国人学生のみならず、他国からの留学生も多数いる環境で、研究活動を通じて、専門性、英語力、社交性や積極性を高めます。

対象		
工学部3年生以上/持続性社会創生科学研究科工学専攻学生		
募集人数	日程	参加費用
3名程度	9~8月(約2か月~1年)	派遣期間によって異なる



私はライス大学のT\*AFSM (Team for Advanced Flow Simulation and Modeling) において、地面近傍で非定常運動を行うデルタ翼の数値流体解析を行いました。研究や授業の内容に関するディスカッションをし、教授や先輩方にご指導いただき、難しい問題をひとつひとつ解決し、研究成果に繋げることができました。1年間の留学生活を通じて、大学関係者だけでなく、多くの友人に出会うことができ、人生観や価値観が大きく変わりました。

留学は、学生のうちに全く新しい環境に飛び込み、今後の人生の可能性を大きく広げてくれる素晴らしいチャンスだと思います。自分の可能性を信じて、ぜひ挑戦してみてください。

吉田 花那 持続性社会創生科学研究科工学専攻(2017年度入学)

### II サイモンフレイザー大学での短期研修(研究型)プログラム

奨学金申請可



**研修先** サイモンフレイザー大学  
**研修内容** カナダ・サイモンフレイザー大学の応用科学部もしくは応用科学部協力研究室のなかから関心のある研究分野を選び、その研究室に所属し、研究活動に携わります。最先端の研究ができる環境であり、英語力も高めます。大学所在地であるバンクーバー地域も治安や経費の面で魅力的な場所です。

対象		
工学部生/持続性社会創生科学研究科工学専攻学生		
募集人数	日程	参加費用
3名程度	8~7月(約2ヶ月~1年)	派遣期間によって異なる

参加学生コメント

留学した当初は専門英語はもとより、日常会話すらまともにできない状況でした。このような状態で、研究を進めることは非常に困難で何度も行き詰りました。そのような時は必ず先生やラボのメンバーがわかるように説明してくれ助けてくれました。日常生活でも、ホストファミリーやルームメイトのおかげで不

自由な生活ができました。ゼロから始めた研究でしたが、多くの人の支えのおかげで、シンポジウムで発表するまでに至りました。多くの人に感謝の気持ち一杯です。非常に貴重な経験と充実した日々を送れた一年間でした。

## 農学部プログラム

### I 国際乾燥地農学実習

**研修内容** メキシコとタイを舞台に、乾燥地や開発途上地域における持続的農業生産、農産物流通、砂漠化対策、砂漠緑化および環境保全に関する知識と技術を習得し、海外における農学の幅広い知見を得ることができます。



1	2
<b>メキシコプログラム</b>	<b>タイプログラム</b>
<b>研修先</b> メキシコ北西部生物学研究センター(メキシコ合衆国・南下カリフォルニア州ラパス市)他	<b>研修先</b> コンケン大学農学部、ウボンラチャタニ稲作研究センター(タイ王国・コンケン県)他

対象	募集人数	日程	参加費用
国際乾燥地農学コース2年生	各15名程度	2月~3月(約1か月)	約20~30万円

私にとって初めての海外でしたが、すごく貴重な体験になりました。この実習では圃場を訪問し、インタビューを行い、市場調査を行いました。現地の農業は乾燥地コースで学んだことと酷似しており、授業の内容を実際に見ることができ、実感することができました。また、授業ではわからない乾燥

地ならではの農業を見学させていただき、乾燥地での農業についての興味がさらに強くなり、自分も乾燥地の農業のために何かしたいと思うようになりました。

中西 彩歌 農学部生物資源環境学科(2015年度入学)



### II 東南アジア熱帯域における菌類科学フィールドワーク

奨学金申請可



**研修先** コンケン大学理学部、ウボンラチャタニ大学理学部(タイ王国・コンケン県、ウボンラチャタニ県)  
**研修内容** 東南アジア熱帯域の未活用遺伝資源であるきのこ類に着目し、森林でのフィールドワーク、室内実習を実施し、きのこ農場の視察をします。研修は英語で行い、現地の学生も参加します。現地学生との交流の下、東南アジアの文化や菌類資源科学の基本概念を学びます。

対象		
農学部生/持続性社会創生科学研究科農学専攻学生		
募集人数	日程	参加費用
15名程度	8~9月頃(約10日間)	約15万円

コンケン大学における菌類研究紹介、実地での採集並びに同定作業、また多様なキノコの栽培施設への訪問及びその紹介と、日本と異なる環境と菌の生態・技術・設備を目で見て手で触れる機会にあふれたプログラムでした。全て英語による会話であるため、必死に理解しようと努めたことも知識の獲得に

つながったと思います。実際に現地生活することでその地域の風習や文化を知ることで日本国内だけにしかなかった自分の価値観が大きく開けていく実感を得ることができました。

加藤 颯一郎 農学部生物資源環境学科(2015年度入学)



### III 英国・ケンブリッジ大学との獣医学臨床研修プログラム



**研修先** ケンブリッジ大学(英国・ケンブリッジ市)  
**研修内容** 獣医療先進国かつ動物愛護の最先端国である英国において、現地の臨床ローテーション実習に参加します。最先端の診断・治療に関する講義および実習をはじめ、飼い主へのインフォームド・コンセントなど、充実した獣医臨床教育に触れることができます。

対象		
共同獣医学科5年生		
募集人数	日程	参加費用
5名以内	2月(約5日間)	約25万円

研修には、欧米の先進的な獣医学教育を体験してみたいという思いから参加し、大学付属動物病院において様々な診療やセミナーを見学しました。ケンブリッジ大学では、学生が「考える」ことに重点を置いた臨床教育体制が整っていました。また、学生が主体となり熱心に議論している様子に非常

に刺激を受けました。この研修を通して、日本の獣医学教育や自分自身の課題を外からの視点で見つめなおすことができ、とても有意義な経験になりました。

黒坂 紗衣 農学部獣医学科(2012年度入学)



鳥取大学国際交流センター

# 日本語パートナー募集！

- ・留学生の日本語授業にボランティア参加して交流！
- ・留学生と1対1のパートナーになって交流！

今学期は説明会を実施しません。

興味のある人は、以下のページにある説明資料をよく読んで、申し込みフォームに記入・送信してください。

\*新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、中止または縮小の可能性があります。

説明資料と申し込みフォーム

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/partner-ppt>



問い合わせ先：国際交流センター 御館久里恵 准教授

[otachik@tottori-u.ac.jp](mailto:otachik@tottori-u.ac.jp)



in Tottori

鳥取大学グローバルキャンパスライフ

国内でも!  
世界に向かって  
**Let's Try!**  
Let's have multi  
cultural experience  
in Tottori

# GLOBAL CAMPUS LIFE!!!

in Tottori University

日本人学生・  
留学生の交流の場!

A great opportunity for interaction between  
Japanese and International students!

海外に行くだけが  
国際交流じゃない!

International exchange is not  
only going abroad!

コミュニケーション力UP  
目指せ! マルチリンガル!

Improve your communication  
skill! Go for Multi-lingual!!



● 国際交流団体 G-frenz  
International Exchange Club G-frenz

● 日本語パートナー  
Partnership for the Japanese Language

→ クラスパートナー  
Japanese Class Partnership

→ パートナーシップ  
Daily Life Partnership

鳥取大学には年間を通して約180名の留学生がいるということをご存知ですか? 留学生との交流を通して、鳥取にいながらにして異文化体験やグローバル感覚を身につけることが可能です!

Do you know that there are about 180 international students at Tottori University? You can get intercultural experience and global sense in Tottori through the activities with international students.

Partnership for the Japanese Language

日本語パートナー

# クラスパートナー

Japanese Class Partnership

留学生の日本語クラスに日本人学生が参加し、日本語での会話やディスカッションをしたり、留学生が日本語で困っているときにサポートする活動です。

パートナーに登録した日本人学生は、留学生の日本語授業に参加し、会話の練習や漢字の書き取りなどのサポートをします。

鳥取大学には、世界各国からの留学生や研究生が留学しているので、日本語の授業に参加すると、こうした留学生と交流することができます。

The Japanese Class Partnership is an activity in which Japanese students join Japanese Classes for International Students and support communication and discussion in Japanese.

Japanese students registered for this activity participate in Japanese classes for International students and support to practice communication in Japanese and writing in Chinese characters.

There are many international students and researchers coming from all over the world in Tottori University, therefore you can interact with them if you participate in the class partnership.





Partnership for the Japanese Language

日本語パートナー

# パートナーシップ

Daily Life Partnership

留学生1人と(基本的には同性の)日本人学生がペアになって、お互いの空いている時間を利用して、互いの言葉を教え合ったり、おしゃべりしたり、遊びに行ったり、自由に交流します。授業の空き時間や休日に、お互いの国の文化や言語を教え合ったり、一緒に遊びに行ったりして、留学生との関係作りができます。

日本語パートナー(クラスパートナー、パートナーシップ)で友達になった留学生が帰国しても、お互いに連絡を取り合ったりして、この場を通してできた友好関係が、その後も長く継続しています。

The Daily Life Partnership is the system which an international student pairs up with a Japanese student and they spend time together when both are free and learn each other's languages and cultures.

Students who become friends through this partnership program continue their friendship even after the international students go back to their countries.



地域住民との交流イベント「もちつき体験」  
Mochi-pounding and exchange with local people



留学生のための日本文化体験  
Japanese cultural activities for international students



「語学シャワールーム」は留学生と日本人学生の交流のための部屋  
The Language Shower Room is a nice place for Japanese and international students to meet and chat

# PHOTO GALLERY

日本語パートナーやG-frenzも一緒に参加します！

Members of G-frenz and Partner for the Japanese Language participate in various exchange events such as...



留学生のための大山スキー研修  
Ski trip to Mt. Daisen



鳥取の夏祭り「しゃんしゃん祭り」鳥取大学インターナショナル踊り子隊  
The Shan-Shan Festival; A popular umbrella dance festival in summer



国際交流のための学内パーティー  
International exchange party on campus

国立大学法人



鳥取大学  
Tottori University

国際交流センター The Center for International Affairs  
ホームページ <https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja>



お問い合わせ  
Inquiry

G-frenzについて About G-frenz

池田玲子教授 Professor Reiko Ikeda  
TEL / 0857-31-6794 FAX / 0857-31-6065  
E-mail / orikeda@tottori-u.ac.jp

日本語パートナーについて About Partnership for the Japanese Language

御館久里恵准教授 Associate Professor Kurie Otachi  
TEL / 0857-31-5748 FAX / 0857-31-6065  
E-mail / otachik@tottori-u.ac.jp

## G-frenzとは？

What's about G-frenz ?

鳥取大学国際交流センター公認の学生団体です。鳥取大学の国際交流活動を企画運営、実施します。また、日本人学生の留学のアドバイスを行っています。

G-frenzは、日本人学生と留学生がメンバーとなって協働して活動する中で、多様な背景を持つ留学生と日本人学生がお互いの言語や文化を学び合うことができます。

G-frenz is a students group authorized by the Center for International Affairs, Tottori University. They plan and hold international exchange activities and give advice on studying abroad to Japanese students.

G-frenz is composed of International and Japanese students. Through their collaborative activities, international students and Japanese students who have different back grounds can learn each other's languages and cultures.

# G-FRENZ

国際交流センター公認国際交流サークル

An International Exchange Club authorized  
by the Center for International Affairs, Tottori University: G-frenz

鳥取大学では世界各国からの留学生を受け入れていますが、G-frenzでは留学生の研修に同行したり歓迎会やコミュニティカフェなどを企画するなどの活動を行い、日本人学生と留学生が交流できる場を作っています。

Tottori University hosts international students from all over the world. G-frenz accompanies international students during their study tours, and plans welcome parties and community café with international students. We create opportunity for exchange of Japanese students with international students.

鳥取の夏を彩るしゃんしゃん祭りに、毎年鳥取大学インターナショナル踊り子隊として参加しています。たくさんの留学生と共に鳥取の伝統文化を体験できる良い機会となっています。

G-frenz participates in the Shan-Shan Festival, which is a popular umbrella dance in Tottori, every summer. It is a good opportunity to experience traditional Tottori Culture with many international students.



FRAGILE  
HANDLE WITH CARE

POST  
STAMP  
300

TRAVEL  
1938